

短大特任教員教育研究業績書

平成30年 4月 26日

| 氏名 | ふりがな | 所属 | 職位 | 性別 |
|-------------------------------------|------------------------|---|----------------------|-------------|
| 林 周子 | はやし しゅうこ | 保育学科 通信教育課程 | 教授・准教授・講師・ 助教 | 男・ ♀ |
| 担当科目名 | | | | |
| 保育・教職実践演習（幼稚園） | | | | |
| 学 歴 | | | | |
| 和暦（西暦）年 月 | 事 項 | | 学位 | |
| 昭和44年（1969年）4月 | 京浜女子大学 家政学部児童学科 入学 | | | |
| 昭和48年（1973年）3月 | 京浜女子大学 家政学部児童学科 卒業 | | 家政学士 | |
| 教 育 歴 ・ 職 歴 | | | | |
| 名 称 | 期 間 | 教 育 内 容 又 は 業 務 内 容 | | |
| 京浜女子大学幼稚部 | 昭和48年4月から 昭和50年3月まで | 幼稚園教諭 | | |
| 桜山保育園 | 昭和53年4月から 平成2年4月まで | 保育士 統合保育 乳児部リーダー 幼児部リーダー | | |
| 学研 「ほっぺんくらぶ」 | 平成3年11月から 平成6年3月まで | 幼児教室指導員（親子教室） | | |
| 逗子幼稚園 | 平成3年4月から 平成8年3月まで | 非常勤教諭 延長保育 | | |
| 逗子幼稚園 | 平成8年4月から 平成9年3月まで | 幼稚園教諭 保育補助 延長保育 | | |
| 第二逗子幼稚園 | 平成9年4月から 平成12年7月まで | 幼稚園教諭 保育補助 延長保育 | | |
| 港南はるかぜ保育園 | 平成12年8月から 平成17年3月まで | 園長 延長保育 緊急一時保育 24時間保育 | | |
| SUN はるかぜ保育園 | 平成17年4月から 平成18年1月まで | 園長 延長保育 緊急一時保育 | | |
| 横浜リゾート&スポーツ 専門学校 | 平成18年4月から 平成19年3月まで | スポーツ保育科 非常勤講師 「図画工作」 | | |
| 横浜こども専門学校 | 平成19年4月から 平成27年3月まで | 保育科、こども総合学科 専任講師 「図画工作」 「チャイルドマナー」 「保育実践演習」 「保育所運営論」 | | |
| 近畿大学九州短期大学 通信教育部 | 平成19年4月から 平成27年3月まで | 保育科 非常勤講師 「総合演習」 「保育・教職実践演習」 「乳児保育」 「言語表現」 「教育実習事前事後指導」 | | |
| 近畿大学豊岡短期大学 （現）学校法人 弘徳学園 通信教育部 | 平成25年4月から 平成29年3月まで | こども学科 非常勤講師 「保育原理」 「図画工作」 「保育実践演習」 | | |

| | | | | |
|---------------------------------|------------------------|--|----------------------------|---|
| 横浜こども専門学校 | 平成 27 年 4 月から 現在に至る | 保育科、子ども総合学科 非常勤講師 「造形表現」「保育実践演習」「卒業研究」「保育制作Ⅱ」 | | |
| 小田原短期大学 | 平成 27 年 4 月から 現在に至る | 保育学科通信教育課程 助教 「保育・教職実践演習（幼稚園）」 | | |
| 所 属 学 会 等 | | | | |
| 名 称 | 活動期間 | 活動内容（役職等の活動を含む） | | |
| 一般社団法人 日本保育学会 | 平成 28 年 8 月から 現在に至る | 研究集会参加 | | |
| 日本保育者養成教育学会 | 平成 28 年 9 月から 現在に至る | 研究大会参加 | | |
| | | | | |
| 社 会 活 動 等 | | | | |
| 名 称 | 活動期間 | 活 動 内 容 | | |
| CCAP 社会福祉法人 子どもの虐待防止 センター | 平成 12 年 3 月から 現在に至る | 賛助会員 活動資金支援 | | |
| 湘南保育教育研究会 | 平成 18 年 4 月から 現在に至る | 会員及び監査役員 定例役員会出席 セミナー（年 2 回）参加 | | |
| NPO 法人 子どもの生活科学研究会 | 平成 28 年 7 月から 現在に至る | 賛助会員 活動資金支援 | | |
| 担 当 教 科 目 に 関 す る 資 格 ・ 免 許 等 | | | | |
| 名 称 | 取得年月 | 取 得 機 関 | | |
| 小学校教諭 1 級普通免許 | 昭和 48 年 3 月 | 神奈川県教育委員会 | | |
| 幼稚園教諭 1 級普通免許 | 昭和 48 年 3 月 | 神奈川県教育委員会 | | |
| 保母資格証明書 | 昭和 48 年 3 月 | 京浜女子大学 | | |
| 調理師免許 | 平成 13 年 10 月 | 神奈川県知事 | | |
| 保育士証 | 平成 15 年 11 月 | 神奈川県知事 | | |
| 研 究 実 績 に 関 す る 事 項 | | | | |
| 代表的な 著書、論文等 の著書 | 単著共著 などの別 | 発行又は発表の 年月 | 発行所、発表雑誌 又は発表学会等 の名称 | 概 要 |
| (著書) しつけ辞典 | 共著 | 平成 25 年 9 月 | 株式会社 一藝社 | 保育者・教師・養育者の指針になる内容となり、 幼児期・児童期・青年期の 3 期に渡り構成されて いる。 執筆担当は以下の通り。 第Ⅱ部 第 2 項 子どもの性格に沿ったしつけ (1) 内向的な子 劣等感が強い子(p, 37) 第 3 項 社会性を育むしつけ |

| | | | | |
|---|----|----------------|---|--|
| | | | | <p>(1) 行動 友達を作る(p, 54)</p> <p>第4項 基本的な生活習慣を身につけるしつけ</p> <p>(3) 排泄 毎日の排便を習慣づける(p, 103)</p> <p>お漏らし夢中粗相への対応</p> <p>(p, 104)</p> <p>おねしょへの対応(p, 105)</p> <p>監修者：谷田貝公昭、村越晃</p> <p>編集代表：高橋弥生</p> <p>執筆者：青木豊、青柳正彦、赤坂澄香、浅見均、<u>林周子</u>他</p> |
| (学術論文) | | | | |
| (その他) | | | | |
| 製作と運動遊び ～新聞紙を使った活動例～ | 共著 | 平成 29 年 3 月 | 小田原短期大学 小田原短期大学 研究紀要 第 47 号 研究資料 | 幼児の体力向上を含めた総合的な発達を促していけるような保育の取り組みを考える。その具体的な活動例として、「新聞紙を使った製作から運動遊び」をテーマにした遊びの連続性を検討する。 |
| スクーリング 「保育・教職 実践演習（幼稚園）」教授 方法の考察 | 共著 | 平成 29 年 4 月 | 小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 「授業評価基準」 2017 年度版 | 授業実践の様子と、学生の行動や振り返りシートの内容などを総合的に捉えて、指導教員の授業改善や、学生理解につなげるための一考察。授業内容は以下の通り（グループワーク中心）。 |
| 新聞紙を使った 幼児の運動 遊びの考察～ コーディネー ション理論を 応用して～ | 共著 | 平成 30 年 3 月 | 小田原短期大学 小田原短期大学 研究紀要 第 48 号 研究ノート | <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画 ・サツマイモの観察と理解 ・封筒シアターの制作と発表 ・振り返り <p>幼児の資質・能力の育成のために、コーディネーション理論を取り入れた運動遊び（新聞紙を使って）を検討する。</p> |

| | | | | |
|--|-----------------|--|---|---|
| スクーリング における防災 教育の取組み～保育・教 職実践演習 (幼稚園)に おける実践～ | 共著 | 平成 30 年 4 月 | 小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 「授業評価基準」 2018 年度版 | 生徒が防災についての知識や保育者としての技能 と判断力を身につけることができるように防災教 育として取り上げ、授業内容の改善や生徒理解に つなげるための一考察。授業内容は以下の通り(グ ループワーク中心)。 ・防災の基礎知識 ・模擬避難訓練 ・避難経路 |
| その他 (表彰等) 絵本入選 | 昭和 57 年 12 月 | <保母の創作絵本童話集> 「おはなしはい」 保育の現場からパート 2 1 いろあそび 林周子 (p, 21~29) 編集・企画 神奈川県民生部児童課 印刷・発行 神奈川新聞社 | | |